

国立大学法人

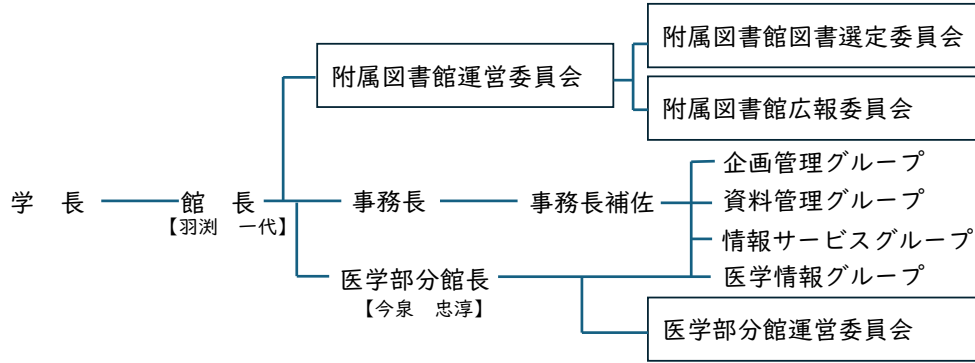
弘前大学附属図書館

概要 2025

学生のための教育・研究支援を目指す



組織図



沿革

	組織	施設・設備	資料整備	利用サービス
昭和24年～平成7年	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館協議会設置【昭24】廃止【平16】 ●附属図書館図書選定委員会設置【昭45】 ●本館事務部制(2課5係)【昭59】 ●附属図書館編集委員会設置【平5】 	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館設置【昭24】(本館、教育学部分館、医学部分館、野辺地分校分室) ●医学部分館建設【昭27】532㎡【昭43】1,286㎡ ●農学部分館を設置【昭30】 ●野辺地分校分室を教育学部分館に統合【昭35】 ●本館建設【昭45】3,462㎡増設【昭59】延面積6,064㎡ ●教育学部分館、農学部分館を本館に統合【昭45】 ●医療技術短期大学部分室を設置【昭52】廃止【平12】 ●図書館業務用電子計算機を設置(情報処理センター設置機器)【昭62】 ●学術情報ネットワークに接続【昭62】 ●本館ブックディテクションシステム設置【昭63】 ●図書館業務用専用電子計算機の予算化【平6】 	<ul style="list-style-type: none"> ●大型コレクション・Collection of economics classics.【昭53】 ●Early English Text Society publications.【昭54】 ●Research materials for studying history, culture, literature, language and other fields of Georgia, Armenia, Caucasus.【昭62】 ●東大寺文書【平元】 ●有価証券報告書総覧【平4・7】 ●Gmelin handbook of inorganic and organometallic chemistry.【平6・8】 ●遊及入力開始【平7】 	<ul style="list-style-type: none"> ●時間外開館(本館～20:00)【昭45】,(医学部分館～20:00)【昭49】,(保健学科分室～18:00)【昭52】 ●土曜開館実施(本館10:00～17:00)【平4】,(医学部分館10:00～17:00)【平15】 ●「青森県立図書館、弘前市立図書館と相互協力に関する申し合わせ」制定【昭59】 ●「弘前市内三大学(弘前大学、弘前学院大学、東北女子大学)図書館の相互利用に関する申し合わせ」制定【昭63】 ●「岩手大学大学院連合農学研究科学生の図書館利用等の取扱いについて(申し合わせ)」制定【平2】 ●「図書館相互貸借」(NACSIS ILL)業務を開始【平4】
平成8年～平成20年	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館広報委員会設置【平12】 ●附属図書館運営委員会設置【平16】(附属図書館協議会廃止) ●学術情報部学術情報課(3係)、情報サービス課(2係)に改組【平16】 ●学術情報部学術情報課(1課4グループ)に改組【平17】 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合情報処理センター教育用PC10台を設置(本館)【平11】 ●本館入退館装置設置【平11】 ●自動貸出返却装置設置【平11】 ●保健学科分室設置【平12】(医療技術短期大学部分室廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> ●大宰治研究文庫開設【平10】 ●リング研究資料コーナー開設【平14】 ●電子ジャーナル導入開始【平14】 ●ノーベル医学・生理学賞関連コレクション【平14】 ●「学生図書を選定について」策定【平16】 ●「学術雑誌及び電子ジャーナル整備基本方針」策定【平17】 ●津軽学コーナー開設,基礎ゼミ指定図書コーナー開設,白神研究資料コーナー開設,ピーターパン・バリ文庫開設【平17】 ●弘前大学学術情報リポジトリ正式公開【平20.5】 ●国立弘前高等学校資料の整理【平20】 ●「津軽領元禄国絵図写」発見【平20.8】 	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館ホームページ開設【平8】 ●日曜開館実施(本館10:00～17:00)【平8】,(医学部分館10:00～17:00)【平16】 ●平日開館延長(本館～22:00)【平11】 ●学生証と図書館利用証の一体化【平11】 ●一般市民への館外貸出を開始【平12】 ●第1回学術講演会【平16】 ●第1回弘前大学学生「言語力」大賞コンテスト【平17】 ●文京・本町キャンパス間図書貸出サービス開始【平20.11】
平成21年～平成26年	<ul style="list-style-type: none"> ●保健学科分室を医学部分館と統合により閉室【平21.5】 ●研究推進部学術情報課に名称変更【平25.4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重資料保管室設置【平21】 ●医学部分館改修【平21】総面積1,569㎡ ●本館入退館装置更新【平22.3】 ●新「松本文庫」設置【平22.6】 ●本館PC サテライト50台に増設し,3階にリニューアルオープン【平23.2】 ●本館自動貸出返却装置更新【平23.3】 ●本館ラーニングスペース・スクエア設置【平23.10】 ●本館改修・リニューアルオープン【平26.10】総面積6,111㎡ ●本館ラーニング・commonsを拡充【平26.10】総面積239㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ●文系図書整備(5カ年計画)【平21.3】～【平25.3】 ●大宰治青春の肖像写真を公開【平21.4】 ●「国立弘前高等学校資料目録」刊行【平21.6】 ●遊及入力・現物調査開始【平21.8】 ●大宰治自筆ノート公開【平22.1】 ●弘前大学学生「言語力」大賞コンテスト作品集刊行【平22.3】 ●「加藤謙一文庫」開設,記念碑建立【平22.9】 ●ひろさき地域共同リポジトリを試験公開【平23.2】 ●「文庫・新書コーナー」開設・雑誌コーナー整備【平23.4】 ●教職関連資料コーナー開設【平24.1】 ●貴重資料のデジタル化→HP公開・「津軽領元禄国絵図写」【平23.11】 ●「阿仁鉱山関係絵図」【平24.10】 ●「大宰治自筆ノート(英語)」【平25.12】 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館報「豊泉」印刷再開年2回発行【平21.5】 ●「青森県立図書館の連携・協力に関する覚書」の締結【平21.10】 ●留学生ガイダンスを開始【平22.4】 ●データベース講習会開始【平22.5】 ●館内貸出パソコンの導入【平22.6】 ●平日開館延長(医学部分館～22:00)【平26.4】 ●本館メインカウンターと参考調査カウンターを統合【平26.10】 ●本館書庫への入庫手続きを廃止,全開架式に変更【平26.10】
平成27年～現在	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館事務部制(事務長5グループ)【平28.4】 ●附属図書館事務部制(事務長4グループ)に改組【平31.4】 ●附属図書館事務部に参事役(附属図書館担当)を配置【令2.4】廃止【令5.3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●「古本募金」回収ボックス設置(本館,医学部分館)【平29.4】 ●本館自動貸出返却装置更新【令元.8】 ●雑誌棟改修・リニューアルオープン【令3.5】総面積6,131㎡ ●雑誌棟入退館装置設置【令3】 ●本館入退館装置更新【令4.3】 ●医学部分館ミーティングルーム・ラーニングcommonsスペース設置【令6.1】 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域志向コーナー開設【平27.1】 ●トルクメニスタンコーナー開設【平27.3】 ●サンライズ産業(株)寄贈図書・雑誌コーナー開設【平28.7】 ●地域学ゼミコーナー開設【平28.10】 ●学生参加型選書ツアー「Book Hunting」開始【平29.6】 ●英語多読コーナー開設【平29.10】 ●貴重資料のデジタル化→HP公開・「大宰治自筆ノート(修身)」【平27.1】 ●「東遊雑記上・中・下」【平28.1】 ●「妙源寺古文書」【平29.2】 ●「弘前藩家中差紙」【平30.2】 ●「弘前藩家中差紙上・弘前藩女中差紙上」【平31.2】 ●「御郡内惣図」【令2.2】 ●「津軽領西海岸図」【令4.2】 ●「国立弘前高等学校平面図」【令4.2】 ●「国立弘前高等学校資料群」【令5.3, 令和6.3, 令和7.3】 ●「弘前大学オープンアクセスポリシー」策定【令和6.5】 ●パラオ関連図書コーナー設置【令7.5】 	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館ラウンジトーク開始【平27.4】 ●POPコンテスト開始【平27.6】 ●ライブラリカフェ開始【平28.6】 ●国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス開始【平28.6】 ●「弘前市内四大学図書館間の相互利用に関する申し合わせ」制定【令2.1】 ●本館8:30開館試行開始【令2.4】 ●貸出冊数・更新可能回数拡大【令3.4】 ●本館授業期8:30開館開始【令5.4】 ●授業期間開館時間を21:45に変更(本館【令7.10】医学部分館【令7.8】)

1. 加藤謙一文庫

加藤謙一は、本学の前身の一つである青森県師範学校の卒業生で、戦後を代表する多くの著名な漫画家を育て、今日の漫画文化の礎を築きました。

この文庫は、手塚治虫などが育てた著名な漫画家の関連資料からなる416点の文庫です。資料の多くは、加藤謙一氏の四男の加藤丈夫氏から寄贈されました。

2. 太宰治研究文庫

太宰治没後50周年（平成10年）を記念する研究整備事業（教育学部）によって収集された資料を中心に設置されました。

3. ピーターパン・バリ文庫

「ピーターパン」の著者である英国エジンバラ大学の総長であった、ジェームス・マシュー・バリのほとんどすべての著書及び関係資料209点、追加23点からなる文庫です。



官立弘前高等学校
入学当時の太宰治

4. 大塚甲山文庫

本県出身で、明治末期の社会主義的詩人、大塚甲山の遺稿、甲山宛書簡、旧蔵書（主として文学書）等からなる190点の資料で、大塚甲山の令弟理吉氏が保管していたものを教育学部同窓会を通じて平成7年4月寄贈されたものです。

5. Collection of economic classics. (経済学古典コレクション)

主として、18世紀を中心とした西欧経済学、経済史、財政学上の代表的な17点45冊からなるオリジナルコレクションです。昭和53年度大型コレクション（全国共同利用資料）として整備されました。

6. 松木文庫（医学部分館所蔵）

本学名誉教授松木明知氏から寄贈されたウィリアム・オスラーコレクション(117冊、別刷114点)、医学古典叢書の復刻版(44冊)、レオナルド・ダ・ヴィンチコレクション(20冊)及びノーベル医学・生理学賞関連コレクション(194冊、別刷14点)からなる文庫です。

貴重資料

資料名	資料概要	貴重資料 指定No.	デジタル アーカイブ
津軽領元禄国絵図写	弘前藩が江戸幕府に提出し、正本・写ともに失われたと考えられていた「津軽領元禄国絵図」の写。絵図には「元禄十四年(1701)十一月 津軽越中守」との書き入れがあり、当時の津軽領内の地理、経済が分かる貴重な資料	1	○
官立弘前高等学校資料群	官立弘前高等学校に関わる、①文部省からの公文書②沿革資料③教務資料④学籍・調書類⑤雑誌・会報類⑥学校経営資料⑦写真類の大きく7項目からなる総点数1,413点余に及ぶ膨大な資料群	2 11	○
青森師範学校資料	昭和20年(1945)当時の文部大臣前田多聞の青森師範学校卒業式告辞から昭和27年(1952)の教育学部卒業式在校生祝辞にいたる記念式典、卒業式の祝辞など全20点で構成された資料	3	
弘前八幡宮古文書	旧津軽藩領守である弘前八幡宮の社務日記(御用留記)を主体とした記録類(写本)で、元禄6年(1693)から明治41年(1908)にいたる196点の資料群	4	
太宰治自筆ノート	昭和2年(1927)に官立弘前高等学校に入学した太宰治が、第1年次の英語と第2年次の修身の講義を書き留めた自筆のノート	5	○
弘前大学蔵ねぶた絵	第1回(昭和39年)から本学が毎年参加している弘前ねぶた祭りの出陣の際に実際に使用した大型ねぶたと一部小型ねぶた裏面の絵を、祭り終了後に裏打ちし保存しているもの	6	
小山内家文書	藩政時代に小比内(さんびない)村の庄屋を務めた小山内家が保管してきたと推定される、津軽地方における近世から近代にかけての地方(じかた)文書(農村資料の総称)	7	
妙源寺古文書	岡崎市大和町所在の真宗高田派妙源寺の所蔵にかかる文書。内閣文庫、東京大学史料編纂所、尊経閣文庫などに収められている写本に含まれていない箇所の写本	8	○
阿仁鉱山関係絵図	藩政後期に秋田藩が鉱山内の建物や住居の分布状況を詳しく把握するために公的な目的で作成した絵図であり、詳細な鉱山絵図として貴重な資料	9	○
加藤謙一関係資料	青森師範学校の卒業生であり、少年雑誌の編集に一生を捧げ、戦後を代表する多くの漫画家を育て名編集長と言われた加藤謙一氏の青年期の履歴を記録した資料や、講談社在職時の資料、ご家族への手紙類	10	
高橋啓一氏収集資料	むつ市の資料収集家の高橋啓一氏が収集した、青森県の歴史に関わる主に近世から近代にかけての古文書類。農村の土地移動や、商家の取引関係の資料が多い	12	
弘前大学闘争関係資料	1960年代末から1980年代にかけて、当時の学生が作成したビラ、撮影された写真類を中心とした資料コレクション。全国の大学等で発生した大学闘争が本学でも行われたという記録の一環	13	

開館時間

(令和7年9月1日)

開館時間	授業期		休業期	
	月～金	土・日	月～金	土・日
本館	8:30～21:45	10:00～17:00	9:00～17:00	休館
医学部分館	9:00～21:45	10:00～17:00	9:00～17:00	10:00～17:00

※授業期の月～金の閉館時間変更(本館 R7.10.1～, 医学部分館 R7.8.18～)

各種統計

●入館者数・貸出

(令和6年度)

		本館	医学部分館
開館日数		299日	330日
	うち 土・日開館	60日	90日
利用対象者数		9,831人	
	うち 学外者	(169人)	
入館者数		188,058人	26,919人
内 訳	平日 8:30*～17:00	141,376人	17,316人
	平日 17:00～22:00	32,259人	6,408人
	土・日	14,423人	3,195人
	うち 学外者	(7,852人)	(333人)
貸出冊数		42,359冊	5,319冊
	うち 学外者	(2,180冊)	(50冊)
貸出者数		24,233人	3,158人
	うち 学外者	(1,022人)	(37人)

*本館(平日)の8:30開館は授業期のみ

●参考業務・文献複写・相互貸借

(令和6年度)

		本館	医学部分館	
参考業務	文献調査	584件	1,200件	
	事項調査	97件	261件	
	利用指導	292件	610件	
	その他 (CD-ROM検索含む)	42件	0件	
文献複写	受付	学内	76件	13件
		学外	733件	1,056件
	依頼	974件	358件	
貸借	図書の貸出	446件	40件	
	図書の借受	385件	8件	

●蔵書

(令和6年度)

		本館	医学部分館	計
図書所蔵冊数	和	536,996冊	82,981冊	619,977冊
	洋	157,231冊	62,607冊	219,838冊
	計	694,227冊	145,588冊	839,815冊
図書受入数	和	5,855冊	521冊	6,376冊
	洋	270冊	100冊	370冊
	計	6,125冊	621冊	6,746冊
雑誌所蔵種類数	和	15,356種	4,201種	19,557種
	洋	3,948種	2,401種	6,349種
	計	19,304種	6,602種	25,906種
雑誌受入数	和	1,053種	393種	1,446種
	洋	41種	50種	91種
	計	1,094種	443種	1,537種
電子ジャーナル		13,548種		
電子ブック		9,555タイトル		
データベース		8種		



弘前大学附属図書館デジタルアーカイブ



弘前大学附属図書館
ホームページ



弘前大学学術
情報ポータル